

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第4学年

【単元名】 わたしたちの県～県の広がり～（8時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
自分たちの県の地理的環境の概要を理解し, 47都道府県の名称と位置を理解する。また, 地図帳や各種の資料を用いて調べ, 白地図などにまとめる。	自分たちの県の位置, 県全体の地形や主な産業の分布, 交通網や主な都市の位置などに着目して, 県の様子を捉え, 地理的環境の特色を考察する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり: 「住みよいくらしをつくる」において, 浄水場や下水処理場を見学し, 水がどのようにつくられ送られてくるのかを調べ, 水の流れを図にまとめて, 水の循環について考えた。

働かせる見方・考え方: 県全体の主な地形や主要な産業, 交通網の広がりに着目し, それらに関連付けて総合すること。

段階	□学習問題 (時間)	留意点
課題把握 (つかむ)  課題追究 (調べる・考える)  課題解決 (まとめる)	1 私たちが住む長野県は, どのような県なのだろう。(1)	<b>気付きや疑問から「問い」を設定する場面</b> ・地図帳で長野県と隣接県を調べ, 「信濃の国」の歌詞から地理的特色を予想する。
	単元を貫く問い: 長野県をPRする手作りパンフレットに載せるために, 長野県の特徴やよさを調べよう。	
	2 長野県の地形や気候には, どのような特徴があるのだろうか。(1)	<b>予想から解決の見通しをもつ場面</b> ・「のびゆく郷土」の資料や地図帳を使って, 長野県の様々な地理的環境の特色を調べていく。
	3 長野県の土地利用の特色について, 地形の特色を関連付けて考えよう。(1)	<b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面1</b> ・地勢図, 雨温図, 土地利用図, 交通網の地図などの資料で調べる。
	4 長野県の交通網の特色について, 主な市町村の分布と関連付けて考えよう。(1)	<b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面2</b> ・多く作られている農産物や工業製品が, なぜ多いのかに焦点をあて, 地形や気候の特色と関連付ける。
	5 長野県では, どこでどのような農産物が多く栽培されているのだろうか。(1)	<b>社会的事象の特色や相互の関連を考察し, 単元を貫く問いに対するまとめをする場面</b> ・既習事項の地形, 気候, 交通網, 農業などの特色を関連させて, なぜ観光客に高原が人気なのかを考察する。 ・観光パンフレットを資料とし, 観光客の立場に立つことで, 長野県のよさを感じられるようにする。
	6 長野県では, どのような工業製品の生産額が多いのだろうか。(1)	
	7 長野県に来る多くの観光客は, なぜ高原に集まるのだろうか。(1)	<b>学習を振り返る場面</b> ・単元を貫く問いに対する答えをまとめる。 ・白地図を使ってまとめる。
8 今まで学んできた長野県の特徴や魅力を白地図にまとめよう。(1)		
	<b>【ねらいを達成した子どもの姿】</b> 長野県は全体が山地に囲まれ, 盆地に大きな市があり, 高速道路や鉄道でつながっている。平地には田畑が, 山の斜面にはりんごやぶどうなどの果物の栽培が多く, 夏の涼しい気候を生かして高原野菜を作っている。工業では精密機械工業, 食品工業が盛んである。高原の豊かな自然, 特産物などの長野県の良さを求めて多くの観光客が来る。	

次単元へのつながり: 長野県内の特色のある地域でさかんな伝統的な産業と, 人々の暮らしの関わりについて調べる。